

横浜市福祉サービス第三者評価結果報告書

2016年1月14日

株式会社こどもの森 駒岡こども園 様

〒 131-0032

所在地 東京都墨田区東向島6-37-4-1002

評価機関名 一般社団法人アクティブ ケア アンド サポート

指定評価機関番号 第11号

電話番号 03-6657-4511

代表者氏名 代表理事 小池一步 印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

事業所名	株式会社こどもの森 駒岡こども園
報告書作成日	2015年12月16日 (評価に要した期間 6か月)
評価機関	一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート
評価調査員	(神機構-623、横浜市-275)
評価調査員	(神機構-205、横浜市-86)
評価調査員	(神機構-、横浜市-)

評価方法

自己評価方法 (実施期間:2015年7月15日~2015年10月23日)	評価機関が提供した手引きを参照しながら、園長が作成し、合議の上、自己評価をまとめました。
評価調査員による評価方法 (実施期間:2015年12月8日~2015年12月9日)	事前訪問、提出書類、家族アンケート結果並びに訪問調査の結果に基づいて評価調査員が合議し評価結果をまとめ、評価委員会で決定しました。
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間:2015年9月30日~2015年10月23日)	保育園から家族へアンケート調査票を配布してもらい、記入後評価機関へ直接郵送する方式により回収しました(31世帯中22世帯、回答者割合71%)。
利用者本人調査方法 (実施期間:2015年12月8日~2015年12月9日)	訪問調査において、評価調査員が分担して子どもの遊びや生活の様子を観察しました。

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書のうち、

- 横浜市は定める部分を公表することに同意します。
- 別添えの理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添えの理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

全体の評価講評

保育園の概要

保育園は、株式会社こどもの森が運営し、最初の横浜市認可保育園として2004年4月に開園しました。東急東横線日吉駅・横浜市営地下鉄グリーンライン日吉駅からバスで15分ほどの所で、5階建てマンションの1階部分です。定員は30人、2015年12月現在35人が在園しています。近くを流れる鶴見川の土手は、草花や昆虫など自然に触れる子どもの散歩コースの一つになっています。小人数の保育園であることを生かし、職員全員が子ども全員を保育するという心構えで、子どもや保護者に対応しています。園内では薄着、裸足で生活し、外遊びに力を入れています。3、4、5歳児は、各年齢1人ずつ3人の異年齢グループを作って活動しています。

特に良いと思われる点

子どもが活動しやすい環境作りに努めています

子どもの安全を考え、保育室の出入口に設けていた柵を取り払い、自由な空間としました。子どもたちと活動のスペースについて、約束をしたり、家具を移動させることによって、安全性を保っています。異年齢の活動時間になると、自分で椅子を持って移動し、次の活動に備えます。遊んだ玩具をきちんと片づけられる子どもとそうでない子どもが顕著になってきたことから、玩具や絵本の収納場所に写真を貼りました。片付けが得意でなかった子どもも、遊んだ後、元置いてあった所に戻すなど、次に使いやすい状態にできるようになってきています。朝夕の合同保育の環境整備について、机やマットを配置する見取り図を描き、活動しやすさや集中できるかななどを検証し、改善に努めています。

穏やかな雰囲気の中で、子どもたちは保育園の生活を楽んでいます

登園後玄関で、保育士に迎えられ挨拶すると、幼児は保護者と分かれ、所定の所で上衣やタオルを掛けたり、持ち物を整理したり、シール帳にシールを貼ったりと、自分で生活の準備を行います。保育士は、その様子を見守っています。保護者は、保育士と言葉を交わすと、足早に仕事に向かいます。降園の際、保護者は玄関で保育士と子どもの様子などを話しながら、帰る支度を終える子どもを待っています。小人数の保育園の特徴を生かし、職員全員がすべての子どもを保育する心構えを持ち、子どもや保護者に対応していることから、全体に一体感があり、穏やかな環境の中で子どもは生活を楽んでいます。今回の利用者家族調査の結果、「子どもが保育園生活を楽んでいるか」という質問に、回答者22人(回答者割合71%)のうち、「満足」(16人、73%)、「どちらかといえば満足」(6人、27%)と回答し、「不満」、「どちらかといえば不満」はありませんでした。

塗り絵に取り組む過程において、独自の指導を行っていました

3～5歳児クラスで、塗り絵をしている子どもを見ました。好きな塗り絵の本を持ってきて、中の絵を書き写していました。指定した頁のコピーを用いるケースが多いと見られる中で、子どもが自分の手で白紙に書き写したうえで、色付けするよう指導していることが分かりました。色付けをする前の書き写しから色付けの仕上げまで、保育士は、子どもが制作に取り組む様子を見守っていました。こうした塗り絵のプロセスは、子どもにとって、良い形で残されていくであろうと実感しました。

散歩活動のなかで、保育士の説明を聞き入る子どもの姿を観察しました

3～5歳児16人が一緒に、近く駒岡堂ノ前公園へ散歩に出かけました。歩行中、保育士の指示に従い、手を上げて横断歩道を渡るなど、子どもらしい様子を観察することができました。行き交う近隣の人々に挨拶の言葉をかけ、嬉しそうに答礼を聞いていました。公園において、保育士が指導したことに従って、思い思いに動き回っていました。公園に隣接する駐車場には、この地を守るための遊水池が設けられていました。帰り際、保育士がこの遊水池の由来を説明し、それを聞き入っている子どもの姿から、保育方針・目標を着実に実践していることがうかがえました。

さらなる改善が望まれる点

子どもに影響を与えるリスクを想定し、保護者に理解と配慮を求める検討が期待されます

幼児がフード付の上着を着ている姿が見られました。保護者へフード付上着の危険性を知らせていますが、徹底されていないように見られました。また、0歳児クラスの子どもの全員が、1歳を過ぎ歩き始めていました。かぶっている帽子にたれは付いていませんでした。小さい子どもほど地面からの紫外線の影響を受けやすいと考えられます。2歳以上の子どもは、園庭で遊んだり、散歩に出かける際、紫外線から身を守るためたれ付帽子を使用しています。子どもの安全や健康に影響を与えるリスクを想定し、保護者の理解と配慮を求めることが期待されます。

掲示や伝達の効果に着目し、現状の方法を見直す必要性の検討が期待されます

入り口の限られたスペースを有効に活用し、必要な掲示物を貼り出しています。このなかには、保育理念や保育方針、目標が含まれています。保護者に対し情報を提供する方法に関し、①何を伝えたいのか、②どのように配置すれば効果的か、③確実に伝わり、理解されているかなど、掲示や伝達の効果に着目して、現状の掲示・伝達方法を見直す必要がないか、検討が期待されます。

職員にとって快適な就業環境を整える、新たな発想が期待されます

充実した保育を実践していくうえで、指導計画や児童票、保護者とやり取りする連絡帳など様々な文書や記録を作成する仕事があります。職員は、日々の保育に励むとともに、いわば事務の仕事も怠ることなく努めています。現状、職員は、こうした業務を午睡中の照明を落した室内の限られたスペースで行ったり、また、子どもが降園し少なくなった時間に行ったりしていると見られます。今後、職員の定着やモチベーションを高める観点から、業務の簡素化・効率化とともに、良好な就業環境を整え、健康な状態を維持する改善に向けた取り組みに新たな発想が期待されます。

横浜市福祉サービス第三者評価 分類別結果

評価領域 I 利用者(子ども本人)の尊重

評価分類 I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成

評価項目 I-1-1(1)

保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのになっており、全職員が理解し、実践しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのとなっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員が基本方針を理解している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスの実施内容は、保育の基本方針に沿っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-1-1(2)




保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は子どもの最善の利益を第一義にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の基本方針や家庭の状況、地域の実態、周囲の環境を考慮して作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程の作成にあたっては、全職員が関わっている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-1-1(3)

日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育計画に基づき、年齢ごとに指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 理解できる子どもには、必要なことをきちんと説明し、納得できることを大切にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 態度・表情などから子どもの意思を汲み取り、言語化できる子どもからは意見・要望を聞いている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類 I-1 評価の理由(コメント)	評価
<p>保育の理念や保育方針は子どもや家庭を尊重したのとなっています</p> <p>運営会社がモットーとする「自分の子どもを入りたい園」を念頭に、保育理念に「心身ともに健やかに育つ環境作り」に努め、地域や子育て家庭に対する支援、地域に開かれた子育て支援の拠点を目指す、また、保育方針に「子どもに快適な環境で十分な発達を促す。保護者のサポートをする」と定めています。こうした理念や方針を踏まえ、例えば、大きな行事は、保護者の就労事情などを考慮し、日曜日に開催しています。また、理念や方針は、職員の全体ミーティングで取り上げ、園長が具体的な例を上げて話をすることによって職員の理解を深めています。</p>	  
<p>保育課程は、保育指針に沿って編成し、保育目標を設定し、保護者、職員に周知しています</p> <p>保育課程は、保育指針に沿って、子どもの安全、安心を最善の利益として編成しています。保育目標に、保育課程をもとに6項目を掲げています。例えば、「あいさつができる子、じょうぶなからだの子、思いやりのある子」です。保育課程の編成と改定に当たり、各クラスの担当者が原案を作成したうえで、リーダー、園長が確認します、その後、職員全員に配付し、周知しています。保育課程、指導計画、保育目標について、保護者への説明は、入園時と進級時に行っています。</p>	
<p>子どもの様子を観察し、子どもの気持ちや意向を汲み取り、指導に生かしています</p> <p>保育課程をもとに、年齢や発達に応じた年間指導計画、月間指導計画、週案、日案を作成します。0、1、2歳児は個別指導計画も作成しています。言葉だけでなく、図鑑や実物を見て触れたり、絵本や紙芝居などを用いたり、静かな所で個別に話すなど子どもが理解しやすい指導方法を工夫しています。3～5歳の幼児には、異年齢保育を取り入れ、3、4、5歳の各1人計3人で1グループを作り、活動しています。リーダーとして皆をまとめたり、それを補佐したり、お手本にしたりする中で出てくる子どもの疑問や好奇心を指導に生かしています。</p>	

評価分類 I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施

評価項目 I-2-(1)

入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に面接している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの様子をよく観察している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園までの生育歴や家庭での状況を把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 面接時に把握された記録は、日々の保育に活かされている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-2-(2)

新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮保育(ならし保育)が必要な場合は保護者への説明を十分している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 0、1歳の新入園児に対しては個別に主担当保育者が決まっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが心理的拠り所とする物の持ち込みができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性の視点から、保護者へのていねいな連絡をノートでしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 在園児への配慮がなされている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-2-(3)

子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの発達や状況に応じて指導計画の作成・評価・見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、複数の職員が参画して作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、保護者の意向も反映している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-2 評価の理由(コメント)

評価
<p>入園前に子どもの発達状況などを把握し、日々の保育に生かしています</p> <p>入園前に園長、リーダーのいずれかが面談し、児童票に予め記入してもらった内容の確認を始め、子どもの発達状況、健康状態、睡眠、排泄、遊びの様子などを聞き、面接チェックリストに記入しています。0歳児は、離乳食、ミルクの状況も確認し、記録しています。面談には子どもも一緒に来てもらい、様子を観察します。面談後に、職員と新年度ミーティングを行い、新入園児の報告を行い、共通認識を持つようにしています。面談時の面接チェックリストや児童票などは個人ファイルに保管し、いつでも確認でき、日々の保育に生かしています。</p>
<p>新入園児の受け入れ時には、新入園児、在園児ともに十分配慮をしています</p> <p>また、入園前の面談時に、ならし保育について、説明しています。家庭の事情も考慮し、また、無理に求めることはなく、ほとんどの子どもが1週間くらいのならし保育を行っています。子どもが心理的な拠り所とする物の持ち込みを認めています。保護者への連絡は、0、1、2歳児は複写式連絡帳、3歳児はノートを使っています。こうした連絡方法のほか、送迎時に口頭で伝えるなどコミュニケーションに努めています。新入園の子どもだけでなく、在園の子どもにも気を配り、声かけや身体でのスキンシップを多くとることを心がけています。</p>
<p>子どもの発達や状況を把握し、保護者の意向も踏まえて指導計画の作成、見直しを行っています</p> <p>子どもの成長の経過と現状を把握し、指導計画の作成、見直しを行っています。個人面談や送迎時に、保護者とよく話し合い、子どもの情報を共有しています。こうして把握した保護者の意向を、指導計画の作成、見直しに生かしています。例えば、トイレトレーニングや離乳食、縄跳びや鉄棒など、保護者の希望を指導計画に取り入れていました。合同保育時に、他のクラスの職員と話し合ったり、全体ミーティングで確認し合ったことなどを、指導計画の作成、見直しに反映しています。</p>



評価分類 I-3 快適な施設環境の確保

評価項目 I-3-(1)

子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園の屋内・外とも、常に清潔に保たれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 通風・換気等が確保され、気になる臭いを取り除く工夫をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 施設内の温・湿度の管理が日々適切に行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 陽光を十分取り入れるよう配慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 音楽や保育者の声などが騒音にならないよう、配慮している。		
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-3-(2)

沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 沐浴設備がある(ただし、0歳児保育実施施設)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 温水シャワーの設備がある。	
<input checked="" type="checkbox"/> 沐浴・温水シャワー等の設備の管理や清掃が十分に行われている。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-3-(3)

子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 低年齢児には、小集団保育が行われるよう、保育室の使い方を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食べる・寝るなどの機能別の空間を確保している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 屋内に異年齢児間の交流の場がある。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-3 評価の理由(コメント)

評価
<p>子どもが快適に過ごせるよう、危険物の点検や保育室の清掃など環境整備に努めています</p> <p>朝、早番の職員が、園庭や保育室に危険物がないかを確認しています。掃除は、毎日担当を決めて行き、最終チェックは遅番の職員が行っています。保育室チェックリストを始め、場所ごとにチェックリストを作り、掃除漏れがないよう工夫しています。1時間ごとに窓を開けたり、換気扇を使ったりして、換気を行っています。換気扇は、毎月1回掃除しています。各保育室は、適切な温度を湿度を設定し、空調設備などで快適な空間を保っています。音や声が、騒音にならないよう配慮しています。玩具の消毒は、各保育室の担当職員が毎日行っています。</p>
<p>沐浴設備や温水シャワーなどを使用し、体を清潔にしています</p> <p>沐浴設備と温水シャワーは0歳児クラスの中に設置しています。沐浴設備の周りにラバーを貼るなど、危険から守っています。0歳児は、汗をかいたり、下痢などで汚れた時、お尻が荒れている時などに使用し、清潔さを保つよう心がけています。0歳児以外も、必要に応じ使用しています。使用するときは、温度に注意を払っています。清掃、消毒は使用した職員がその都度行き、遅番職員がその日の最後にも行っています。沐浴設備や温水シャワーなどの設備の管理は、栄養士と調理員が担当しています。</p>
<p>家具などを利用し、子どもの発達や活動に応じた空間作りに努めています</p> <p>ワンフロアの部屋を家具で仕切ったり、マットを利用したり、また、以前設けていた1、2歳児保育室の出入り口の柵を取り除くなど、年齢や活動に応じ自主的に動きやすい空間を作っています。食事や午睡の時間は、家具を少し動かしてレイアウトを変え、楽しい食事やゆっくり午睡が取れるよう工夫しています。家具の移動には細心の注意を払っています。0、1、2歳児は月齢により活動したり、幼児と一緒に活動することもあります。3、4、5歳児は、クラス活動以外、異年齢のグループで活動し、食事と一緒に。小さな子ども同士が関わり合うことは、保育目標の「思いやりのある子」を育てることにつながっています。</p>



評価分類 I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力

評価項目 I-4-(1)

子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合った個別指導計画を作成しているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 3歳未満児については、個別指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別の目標・計画は定期的(月1回を目安)に見直すのみでなく、子どもの発達状況に合わせ、柔軟に変更・見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別指導計画の作成・見直しにおいて、重要部分を保護者に説明し、同意を得ている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-4-(2)

子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか

判断基準		評価
A	Bに該当した上で、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもや家庭の個別の状況・要望を決められた書式に記録している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園後の子どもの成長発達記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの記録内容は全職員が共有できるしくみになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な申し送り事項が記録され、進級時等に伝達されている。	
B	保育所児童保育要録を小学校に送付している。その上で、Aの中で2つ以上に該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する。または、該当しない。	

評価分類 I-4 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)		評価
個別指導計画は、保護者とコミュニケーションを取りながら作成、見直しを行っています		  
0、1、2歳児は個別指導計画を作成しています。幼児も、特別な配慮が必要な場合、個別指導計画を作成しています。一人一人の経過記録を四半期ごとに作成し、個人ファイルに保管していつでも確認できるようにしています。個別の目標、計画は、連絡帳や送迎時に保護者とコミュニケーションをとる中で見直しに反映しています。例えば、トイレトレーニングは、家庭での様子を共有する中で進めています。新しい取り組みを始める時は、保護者に対し個人面談の際や園便りで知らせ、同意を得ています。		
子ども一人一人の情報は個人ファイルに収納し、全職員が共有しています		
家庭状況を始め、生育歴、生活習慣や嗜好、健診状況などを記入した児童票、入園以降の子どもの成長・発達を記入した経過記録や個人面談記録など子ども一人一人の情報は個人ファイルに綴じ、保管しています。個人ファイルは、事務室の鍵付き書棚に収納し、職員がいつでも見ることができます。進級時、子どもの重要事項は経過記録に記入し、次の担任へ引き継いでいます。保育所児童保育要録は所定の用紙に記入し、入学する小学校へ郵送しています。		

評価分類 I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み

評価項目 I-5-(1)

特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> Bに該当した上で、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別のケースについて会議で話し合わせ、記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 最新の情報を職員間で学習し、保育に活かしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 共有する情報は記録され、いつでも確認できるようファイリングされている。	
<input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> 特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢がある。		
C	<input type="checkbox"/> 上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-5-(2)

障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> 次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> バリアフリーなど、障害児保育のための環境整備に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の同意を得て、医療機関や専門機関から助言や情報が得られる体制をとっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害の特性を考慮した個別指導計画が立てられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害児保育について全職員で学習し、話し合える体制ができています。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害児と障害のない子どもとの関わりに配慮をしている。	
B	<input type="checkbox"/> Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	<input type="checkbox"/> Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-5-(3) ※旧 II-3-(4)から移動

虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> 次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待の定義が全職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待が明白になった場合に、関係機関に迅速に通告・相談する体制を整えている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 疑わしい場合や見守りが必要な場合は関係機関との連携をとっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭支援の必要な保護者を援助し、虐待の予防に配慮している。	
B	<input type="checkbox"/> Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	<input type="checkbox"/> Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-5-(4)




アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> 次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どものかかりつけ医の指示を受け、適切な対応を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員にアレルギー疾患についての必要な知識や情報が周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギーにおいては、保護者との連携を密にし、 除去食 を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 除去食 を提供する場合は、誤食事故を防止するため専用トレイや専用食器、名札等を使用している。	
B	<input type="checkbox"/> Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	<input type="checkbox"/> Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-5-(5)

外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 文化(言語・表現・食事)や生活習慣、考え方の違いを認め尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 文化や生活習慣の違いを他の子どもたちが理解できるよう配慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な場合の対応策がある。		
B Aの中でいずれか1つは該当する。		
C 上記のいずれにも該当しない。		

評価分類 I-5 評価の理由(コメント)	評価
<p>障害のある子どもに個別指導計画を作成し、適切な対応をしています</p> <p>障害のある子どもについて、横浜市東部地域療育センターと連絡を取っています。来園したセンターの担当者に、保育の様子を見てもらい、アドバイスを受けています。直近の来園時、現在の対応で大丈夫との話を受けています。保護者とも連携を取り、対応に努めています。横浜市の専門研修を受講した職員が、全体ミーティングなどにおいて、研修内容を発表する場を設け、学びを共有するよう配慮しています。研修報告書は、いつでも閲覧できるよう事務室に備えています。子ども同士は、気にすることなく互いに関わっています。年長の子どもが、気遣いし心を配っている様子が観察されています。</p>	  
<p>食物アレルギーに対し、除去食の用意、専用食器の使用、確認の声かけを行っています</p> <p>横浜市の「保育所における食物アレルギー対応マニュアル」に従って対応しています。保護者から、子どもの主治医が作成した「アレルギー疾患生活管理指導表」を提出してもらいます。現在、1人の子どもに、事務室で園長や保育士がつき添って除去食を食べています。トレイや皿、スプーン、コップなどすべて名札を付けた専用食器を使用しています。保育士が、給食室から持ってくる時、必ず栄養士に声をかけ、除去食を確認しています。</p>	
<p>虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけています</p> <p>横浜市の虐待に関するガイドラインを職員全員に周知しています。疑いがある場合、鶴見区福祉保健センターの担当者と連絡を取りながら、様子を観察します。明白になった場合、横浜市中央児童相談所や鶴見区の担当者との連絡を取るようになっていきます。朝の視診、オムツ交換時などに、子どもの様子を確認しています。保護者とのコミュニケーションを大切にし、変化にいち早く気付くことを心がけ、例えば、無断で欠席した場合、保護者に状況を確認するため連絡を入れます。</p>	

評価分類 I-6 苦情解決体制

評価項目 I-6-(1)




保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 第三者委員に、直接苦情を申し立てることができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して、意見箱・懇談会・アンケート等で進んで要望や苦情を聞いている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自分で意見を表明するのが困難な園児や保護者に対して具体的な配慮がなされている。	
B	要望・苦情を受け付ける担当者が決まっており、事前に保護者に説明されている。	
C	要望・苦情の受付窓口が明確にされていないなど、取り組みが不十分である。	

評価項目 I-6-(2)

要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 第三者委員を交えて対応する仕組みができている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園単独で解決困難な場合には、外部の権利擁護機関や相談機関との連携体制がつけられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要望や苦情の解決策が会議等を通じて職員に理解・周知されている。	
B	過去の苦情・トラブルや要望のデータを蓄積・整理し、解決に活かしている。	
B	要望や苦情を受け付け対応するためのマニュアル等文書化されたものが整備されている。	
C	マニュアル等文書化されたものが整備されておらず取り組みが不十分である。	

評価分類 I-6 評価の理由(コメント)		評価
保護者が、意見や要望、苦情を申し出る仕組みを設けています。		  
保育園以外の第三者委員に苦情を申し立てることができる仕組みを設けています。その手順は、「入園のしおり」に記載し、玄関に掲示しています。保護者アンケートのほか、個人面談や懇談会、送迎時などのコミュニケーションを通して、保護者の声を聞いています。子どもの声や意思表示に耳を傾け、汲み取り、対応しています。鶴見区役所や区福祉保健センター、横浜市東部地域療育センターや中央児童相談所など権利擁護機関を紹介する用意ができています。苦情受付担当者と責任者を決め、迅速に対応し解決に取り組む体制を整備しています。		
寄せられた意見や要望、苦情に対し、迅速に対応しています。苦情解決制度を明記した流れを明確にし、保護者へ周知しています。「苦情解決に関する規程」(対応マニュアル)を整備し、職員全員に周知しています。保育園で解決が困難な場合、運営会社本部事務局で対応するほか、外部の権利擁護機関を紹介しています。意見・要望、苦情の申し出があれば、まず、ミーティングなどで話し合い、解決に努めます。具体的な苦情の内容は、「苦情簿」に、その対応状況とともに記録しています。最近、近隣の住民から子どもの声に対する苦情がありましたが、適切な処置をとり、理解し納得してもらっていました。		

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類Ⅱ-1 保育内容〔遊び〕

評価項目Ⅱ-1-1(1)

子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど)ができているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがおもちゃや教材等を自分で取り出して遊べるようになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 年齢や発達にふさわしい環境構成に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがそれぞれ落ち着いて遊べる環境を確保している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自分の好きなこととして遊び込める時間が十分に確保されている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(2)

遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの自由な発想を受け止め、それを集団活動に取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがそれぞれ自由にごっこ遊びをしたり、落ち着いて一人で遊んだりしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉活動は、みんなと一緒に遊ぶ楽しさとともに、友だち関係やルールを守る等の社会性を重視して、年齢に応じて取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由遊びの中で一人ひとりが興味・関心を持って遊べるよう、保育士が援助している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(3)

動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 栽培や飼育を通して得られる体験を、保育活動にフィードバックしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもたちが散歩等で、日常的に地域の大人や子どもたちと挨拶・会話を交わしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外活動で地域を知り、自然に触れる機会を積極的に設けている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-1(4)

子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現できるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自発的に表現するよう様々な素材を用意するなど、自由に使えるよう配慮されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に歌ったり、絵を描いたりしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-1(5)




遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども同士のけんか等については、危険のないよう見守りながら、子ども同士で解決ができるよう援助している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異年齢の子ども同士が関わりを持てるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員は、常に公平で温かい態度・言葉遣い等で子どもに接し、信頼関係を築いている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-1(6)

積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や屋外活動などを積極的に取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や屋外活動などを行う際には、紫外線対策やアレルギーへの対処を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 発達段階に応じて、運動能力を高められるような遊びの環境を意識してつくっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの既往歴や健康状態に合わせた遊びを工夫している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅱ-1〔遊び〕 評価の理由(コメント)	評価
評価項目Ⅱ-1-1(1)	
ワンフロアを上手く活用し、子どもが主体的に活動できる環境を作っています	
低い家具を仕切りと収納に上手く利用し、子どもが玩具を自由に取り出し、片付けられるようになっています。年齢や発達に相応しい玩具をそれぞれ活動する場所に用意し、子どもの興味が湧くよう定期的に入れ替えています。以前遊んだものを、子どもが要望し用意することも行っています。朝夕の合同保育は、自由遊びの時間とし、じっくり遊びこんでいます。パズル式のブロックなど製作途中で翌日引き続き遊びたいときに備えて崩さずに保管しています。机で絵かきや折り紙、カーペットでままごとや組み立て式ブロックなど落ち着いて遊べる空間を作っています。	
評価項目Ⅱ-1-1(2)	
子どもの気づきや自由な発想を受け止め、発展させたり、集団活動に取り入れています	
プール遊びで5歳児が自分たちでルールを簡単なルールに変え、3歳児も参加できるようにしたり、発表会で演奏する曲目を自分たちで決めて作り上げていくなど、皆で工夫し楽しむ体験を重ねています。朝顔の花の色が手に付いたことから、色水遊びに発展させました。異年齢での活動では、クッキングや制作などを通して、友達との関わり方を学び、徐々に役割を果たせるよう成長しています。興味を持ったことや季節で楽しめることを絵本や図鑑で調べたり、実物を見たりして、自分でできるよう保育士が援助しています。	
評価項目Ⅱ-1-1(3)	
動植物の飼育や栽培をし、散歩などで自然に触れたり、地域の方に挨拶をしています	
春はアリの観察、夏はカブト虫やクワガタの飼育をし、オクラや人参、インゲン豆を育てました。アリは園庭で捕まえたもので、いろいろな種類を一緒に入れると小さいアリは死んでしまうことを知りました。飼育していたカブト虫などが死んでしまったあと、卵が見つかり、命が繋がっていることを目の当たりにしました。植物の成長の様子を子どもが描き、玄関に掲示、皆で成長を楽しみました。近くの土手や公園など花や虫などと触れ合える場所がたくさんあります。散歩に出た時や園庭にいる時、見学者に子どもから挨拶をしています。	  
評価項目Ⅱ-1-1(4)	
やりたいことや作りたいもの、感じていることなどを自由に表現できるよう配慮しています	
体操や遊戯など多く取り入れています。子どもから「この曲がいい」とリクエストが入ります。テレビで人気のある遊戯も、子どもと振付を確認しながら楽しんで踊っています。折り紙やぬり絵は、年齢に合わせて用意しています。ブロックなどで好きな形の物を作ったり、ごっこ遊びに発展させたりしています。毎日の歌や手遊び、体操は、年齢にあった曲を選んでいきます。毎月の歌は、園便りで知らせています。手遊びの楽譜は自由に持ち帰り、家でも楽しめるよう配慮しています。幼児は、自由画帳をそれぞれ持って、自由遊びの時間などに自由に描いています。	
評価項目Ⅱ-1-1(5)	
子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう担任だけでなく全職員で配慮しています	
子ども間でいさかいが起こった時、過干渉にならないよう意識的に見守り、危険な時は仲裁に入ります。子どもだけで解決が難しい時は、双方の子どもの話をよく聞いて助言し、解決を手助けしています。何が原因かを見極め、また、一方に偏らないよう注意しています。散歩など異年齢の子どもで行く機会を増やし、関わりを多く持つよう工夫しています。合同保育や異年齢保育の時、幼児が乳児の世話をし、乳児も幼児を慕っています。職員全員で保育するという考えのもとに、子どもに関わり、どの子どもにも公平で温かい態度で接するよう心がけています。	
評価項目Ⅱ-1-1(6)	
積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされています	
外遊びは、健康増進に加え、遊び方、子ども同士の関係、危険の認知など外遊びで培われるものが大きいと考え、重視しています。朝夕の合同保育は、晴れていれば園庭遊びを行っています。外に出かけるときは、帽子を被り、必要に応じ日焼け止め塗り薬を使用しています。縄跳び・・・一人跳び、大縄跳び・・・を取り入れています。3歳児も、5歳児の縄跳びを見て練習を始め、幼児クラスほぼ全員が大縄跳びをすることができます。4、5歳児へ憧れる気持ちが活動意欲を引き出しています。外遊びの際、フード付上着など危険を伴う服の着用には、配慮が望まれます。	

[生活]

評価項目Ⅱ-1-(7)

食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士が、子どもの負担になるほどに残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳児の授乳にあたっては、ほしがる時に、抱っこして声をかけながら与えるようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 授乳する時や離乳食を食べさせる時は、子どものペースを尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自分から食べようとする意欲や行動を大切にしながら、適切な言葉かけや援助をしている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。対象乳児がいない場合は2つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。対象乳児がいない場合は、全くおこなっていない。	

評価項目Ⅱ-1-(8)

食事の場、食材、食器等に配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある献立や食欲がわくような盛りつけなどの食事作りに配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食事の場としての雰囲気づくりに配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食材や食器の安全性に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの成長・発達や用途に即した食器を使用している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(9)

子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの好き嫌いを把握し、盛り付けや調理方法を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士や調理担当者が、子どもたちの食事の様子を見る機会を設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 残食を調査記録し、献立・調理の工夫に反映させている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-(10)

子どもの食生活について、家庭と連携しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 献立表を作成し、事前に配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 献立作成のポイントを明記した情報提供を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的にレシピを提示し、保護者に園で提供する食事に対する関心を促している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者が試食できる機会等を設けて、栄養・味付け・食べ方(噛み方)等、園で配慮していることを知らせている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(11)





午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 眠れない子ども、眠くない子どもには午睡を強要せず、静かに過ごさせるなど柔軟な対応をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 安心して心地よい眠りにつけるよう、午睡・休息の場を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児突然死症候群に対する対策を行っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 年長児には適当な時期から午睡を一斉活動としていない。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(12)

排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの排泄のリズムをとらえ、個人差を尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> トイレトレーニングは一人ひとりの発達状況に応じて個別に対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園での排泄状況を保護者に伝え連携を密にしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅱ-1 [生活] 評価の理由(コメント)	評価
<p>評価項目Ⅱ-1-(7)</p> <p>月1回、郷土料理を取り入れるなど食事を豊かに楽しめる工夫をこらしています</p> <p>月1回、郷土料理を取り入れています。幼児クラスに、都道府県の名前と郷土料理を記入した日本地図を掲示しています。11月は、宮崎県の「チキン南蛮」で、人気がありました。幼児の給食は、バイキング形式です。見本があり、自分で食べられる量を告げ、盛り付けます。苦手な物も一口程度は食べるよう頑張っています。離乳食も、子どものペースに合わせ、「おいしいね」、「よかもうね」と声かけをしながら食べさせています。1歳児後半から食器を片付ける練習を始め、幼児クラスはクッキングの時間を設け、食材や調理に興味を持てるよう工夫しています。</p>	
<p>評価項目Ⅱ-1-(8)</p> <p>食材、食器などの安全性とともに、食欲がわくような食事作りに気を配っています</p> <p>食材は国産の旬のものを使用し、生産地などの要求を八百屋に伝え、安全なものを購入しています。行事食は、見た目もかわいらしく行事に因むものを作り、子どもが見て、触って、食べて、季節が感じられるよう工夫しています。7月の「七タソーマン」では、星に見立て型抜きした人参を、苦手だった子どもが喜んで食べました。食事中、低音でクラシック音楽を流し、保育士も一緒に食事を摂り、マナーを教えたりしながらコミュニケーションを図っています。3、4、5歳児は、強化磁器製の、0、1、2歳児はメラミン製の、いずれも安全な食器を使用しています。</p>	
<p>評価項目Ⅱ-1-(9)</p> <p>子どもの喫食状況を把握し、献立の作成・調理の工夫に生かしています</p> <p>食物の好みが児童票に記入され、職員は把握しています。キッチンから、栄養士や調理員は、乳児クラスの食べる様子を観察しています。幼児クラスには出向いて、子どもの様子を確認しています。子どもの喫食状況を、保育士からも聞いています。食べられない子には、少なめの量を盛り付けています。残食状況を給食日誌に記録しています。給食ミーティングにおいて、メニュー、喫食状況、調理方法などを話し合い、以後の食事作りに生かしています。</p>	  
<p>評価項目Ⅱ-1-(10)</p> <p>献立、人気メニューやレシピを知らせるなど、食生活について、家庭と連携しています</p> <p>離乳食を含む食事の献立を、毎月の園便りで知らせています。玄関に、日々の給食のサンプルを展示しています。また、園便りに、子どもの人気メニューをレシピとともに掲載し、紹介しています。保育参観日に試食会を行い、子どもと一緒に食べてもらいました。乳児クラスでは、子どもへの声かけの様子や味付け、量などを確認してもらいました。試食会のレシピも自由に持ち帰ってもらっています。翌日の連絡帳に、「家では食べない野菜をモリモリ食べていた。薄味にびっくりした。」など多くの感想が記述されています。</p>	
<p>評価項目Ⅱ-1-(11)</p> <p>午睡・休息は、発達や日々の子どもの状況に応じ対応しています</p> <p>眠れない子どもには、コット(子ども用簡易ベッド)で横になって休むよう促しています。照明を落とし、カーテンを閉め、オルゴールなどの曲をかけるなど、安らかに心地よい眠りにつけるよう環境に配慮しています。幼児クラスは、保育士の話を聞いてから眠りに入ります。0、1歳児は、SIDS(乳幼児突然死症候群)予防のため、5分起きにSIDS表を使って、呼吸を確認しています。5歳児は、10月の運動会終了後から少しづつ午睡時間を短くし、部屋や外で活動しています。今回の利用者家族調査の結果には、昼寝や休憩の対応について、少数ながら「不満」「どちらかといえば不満」の回答が見られました。家庭の連続性の観点から、さらなる情報共有や共通認識が期待されます。</p>	

評価項目Ⅱ-1-(12)

トイレトレーニングは一人一人の発達状況に応じて個別に対応しています

トイレトレーニングは、保護者と話し合い、連絡を取り合いながら行っています。成功体験を積み重ね、自信につなげています。保育園での排泄状況は、保護者へ連絡帳や口頭で伝えています。個人面談や送迎時にも、保護者と情報を交換するなど連絡を密にしています。職員には、ミーティングで、子ども一人一人の状況を伝えています。

評価分類Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理

[健康管理]

評価項目Ⅱ-2-(1)

子どもの健康管理は、適切に実施されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの健康状態を把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 既往症について常に保護者から情報を得られるように努め、対応を関係する職員に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて園での子どもの健康状態を保護者に伝え、降園後の対応について話し合っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-2-(2)

健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの健康診断・歯科健診の記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝え、連携を密にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 健診結果に基づき、嘱託医やかかりつけ医との連携を図っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-2-(3)

感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応がマニュアルに明記され、保護者に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育中に発症した時は、保護者への連絡をすみやかにし、対応については保護者の事情も考慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症が発生した時は、速やかに保護者に情報提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症に関する最新情報を職員が共有している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症等への対応に関するマニュアルがある。	
C	感染症等への対応に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅱ-2 [健康管理] 評価の理由(コメント)


評価の理由(コメント)	評価
<p>子どもの健康状態を把握し、維持に努めています</p> <p>「健康・衛生管理マニュアル」に基づいて、子どもの健康状態を把握しています。入園時、かかりつけ医療機関や発育歴、既往歴、予防接種などを児童票に記入してもらい、入園後、保育園における健康診断や身体測定の結果、保護者から連絡を受けた予防接種などを記入します。37.5度以上の熱、嘔吐や下痢がひどい時は、保護者に連絡し、状況を伝えるとともに迎えに来てもらいます。食後の歯みがきは、2歳児クラスが、11月頃から始めています。本年度、歯科医に歯磨き指導をもらい、分かりやすいパネルを保育室に掲示しています。運営会社の方針で、本年度から、力がある程度加わると曲がる歯ブラシを全ての子どもが使用することに改めました。</p>	  
<p>健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させています</p> <p>健康診断は毎年2回(5月、11月)、歯科健診は1回(6月)、蟻虫卵検査は1回(4月)、尿検査は1回(12月、4歳児のみ)を行っています。健診・検査の結果は、児童票に記録し、保育に生かしています。保護者へは、「健康診断の結果」「歯科健康診断結果のお知らせ」などに記入して手渡し、口頭でも診断時の状況を伝えています。健診の結果によって、嘱託医の診察を受けるなど連携をとっています。当日、受けられなかった子どもの保護者に、嘱託医で健診を受けるよう勧め、その結果を報告してもらいます。</p>	
<p>感染症は「感染症マニュアル」に基づき対応し、保護者にも徹底しています</p> <p>入園のしおりに、登園停止の病名を明記し、回復後登園する時に医師の治癒証明書を提出してもらいます。感染症が発生した場合、玄関に掲示するほか、園便りでも知らせ、保護者に注意を促します。保育中に発症した時は、保護者に連絡し、迎えに来てもらいます。迎えを待つ間、他の子どもと接触しないよう事務室で休養し、状況によって医療機関へ連れて行きます。横浜市や鶴見区からのFAX、メール情報、ニュースの情報を、職員全員が共有しています。職員は、感染症マニュアルをいつでも閲覧でき、また、嘔吐物処理をミーティングで実習しています。</p>	

[衛生管理]

評価項目Ⅱ-2-(4)

衛生管理が適切に行われているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルは、職員参加により定期的(内容により異なるが、最低年1回を目安)に見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルの内容を全職員が共有するため、定期的(採用時に1回、採用後は最低年1回)に研修を実施するなど、具体策を講じている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルに基づき清掃等が行われ、清潔・適切な状態が保たれている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 衛生管理に関するマニュアルがある。	
C	<input checked="" type="checkbox"/> 衛生管理に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅱ-2 [衛生管理] 評価の理由(コメント)	評価
<p>「健康・衛生管理マニュアル」に沿って、清掃し、チェックするなど衛生管理に努めています</p> <p>「健康・衛生管理マニュアル」は、定期的に見直し、変更箇所はミーティングで報告、職員全員に周知しています。新人職員には、一対一で掃除の方法を教え、漏れのないよう気を配っています。清掃する場所ごとのチェックシートを作成し、掃除した結果を記入するなど、常に清潔な状態を保つよう努めています。毎日16時過ぎから全ての部屋を掃除し、窓やエアコン、壁は月に一度掃除しています。玩具は、毎日次亜塩素酸水で消毒しています。タオルは使わず、ペーパータオルを使用し、汚物処理の際は、手袋を着用しています。</p>	

[安全管理]

評価項目Ⅱ-2-(5)

安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地震等を想定し、備品等の転倒防止など安全対策を講じている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルは、事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急連絡体制が確立している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 通報や連絡体制の予行演習、地域の避難場所等への誘導などの訓練を実施している。	
B	安全管理に関するマニュアルがあり、Aの中で3つ以上該当する。	
C	安全管理に関するマニュアルがない。または、Aの中で1～2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-2-(6)

事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者や救急機関、地域への連絡体制が確立している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どものケガについては、軽傷であっても必ず保護者に状況を報告し、記録している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員会議などで事故の報告、再発防止策の検討が行われ改善策が実行されている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-2-(7)

外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者等の侵入防止策(出入口の施錠等)が講じられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者等に対する緊急通報体制が確立されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者の情報が関係機関、近隣住民等から得られるネットワークができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅱ-2 [安全管理] 評価の理由(コメント)

評価
<p>事故や災害に備え、安全対策に取り組んでいます</p> <p>家具に滑り止めやつつぱり棒を取り付け、地震時の転倒防止を図っています。「安全管理災害マニュアル」に、避難時の役割分担を始め、災害時緊急連絡先、緊急対応手順(マニュアル、地震編・火災編・不審者編ほか)を記載し、職員全員に周知しています。緊急連絡体制を確立し、役割とともに事務室に掲示しています。毎月、避難訓練を実施しているほか、年に一度、地域の避難場所(駒岡小学校)に行きます。園長を始め保育士は、救急救命法研修を3年ごとに受け、受講済カードを玄関に掲示しています。</p>
<p>事故や怪我が発生した時及び事後の対応体制を整え、対応しています</p> <p>事故や怪我が発生した時の保護者や救急機関、地域への連絡体制を確立しています。近隣の医療機関一覧を事務室に掲示しています。怪我は、小さな怪我でも必ず保護者に報告します。翌日、保護者に家庭での様子を聞き、朝のミーティングで報告し、職員全員に周知しています。ミーティングなどで、再発防止策を話し合い、改善策を実行しています。事故記録簿に、怪我の発生状況や対応、保護者への引き渡し状況、再発防止のための反省点や改善策などを記録しています。</p>
<p>外部からの侵入に対して対応策が取られています</p> <p>玄関の扉には、暗証番号式のカギを取り付けています。暗証番号は、定期的に変更し、保護者へ知らせています。玄関に、防犯カメラを設置し、「防犯カメラ作動中」と表示しています。不審者などの緊急通報先一覧を、事務室の電話近くに掲示しています。不審者を発見した場合、常時携帯している笛を鳴らし、園長や電話の近くにいる職員が通報します。不審者情報は、区役所からFAXや電話で、また、神奈川県警の「ピーガルクンこども安全メール」で、それぞれ配信されます。近隣で起きた事件や不審者情報は、保護者に口頭や掲示で知らせています。</p>



評価分類Ⅱ－3 人権の尊重

評価項目Ⅱ－3－(1)

保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもに対して威圧的な言葉遣い、無視が行われないよう、職員間で相互に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> せかしたり強制したりせず、おだやかに分かりやすい言葉で話している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つ該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－3－(2)

必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 友だちや保育士の視線を意識せず過ごせる場所がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもに威圧感を与えず一対一で話し合える場所がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、プライバシーを守れる場所を用意することができる。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ－3－(3)


個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 守秘義務の意義や目的を全職員(ボランティア・実習生含む)に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いについてガイドラインをつくり、全職員に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いについて、保護者に説明し了解を得ている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報に関する記録は施錠できる場所に保管、管理している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－3－(4)

性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 順番、グループ分け、整列など性別にしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的にとらえた話し方、表現をしないようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、職員同士で反省する仕組みをつくっている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅱ-3 評価の理由(コメント)	評価
<p>日頃の保育の中で、子どもの人格を尊重した対応に努めています</p> <p>子どもに対し、威圧的な言葉遣いや無視が行なれないよう職員間で確認しています。子どもと話す時は、一人一人のペースに合わせることを心がけています。落ち着いて話ができない場合は、事務室など静かに話せる場所を利用しています。職員間で、「～しようね」という言葉かけを申し合わせています。子どもの人格を貶めるような罰を与えたり、また、自尊心を傷つけるような言動をしたり、態度をとってはならないことを職員全員が自覚しています。子どものことを否定せず、まずは受けとめることを周知していました。</p>	
<p>個人情報の保護に関し、守秘義務の遵守を徹底しています</p> <p>個人情報の保護に関し、職員のみならず、ボランティア及び実習生から誓約書を取るなど、守秘義務の遵守を確実にしています。保護の対応は、「福祉分野における個人情報保護に関するガイドライン」をもとに、職員全員に徹底しています。「個人情報保護方針」を玄関に掲示するとともに、園長の保護者面談時に説明し、保護者の理解を得ています。子ども一人一人のファイルは、鍵付きの書棚に保管していました。</p>	
<p>性差による先入観や固定観念を植え付けないよう配慮しています</p> <p>子どもに性差による先入観や固定観念を植え付けないよう配慮しています。役割は自分たちのやりたいものを選ばせ、遊びもコーナーも子どもが自由に選んで遊べるよう設定しています。折り紙もそれぞれが好きな色を選んでいきます。5歳児は、縫いさしがあり、男女とも楽しく参加しています。決められた順番での整列はなく、座る場所も自由で、性別の意識はありません。父親や母親の役割を固定的にとらえた話し方や表現をしないよう、園内研修で確認しています。</p>	

評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携

評価項目Ⅱ－４－(1)

保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対しては、全体会または懇談会などで説明する機会を設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して、園独自のアンケートなどで保育方針が理解されているかどうか把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常保育の中で、園だよりや連絡帳などで保育方針が理解されるよう努力している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(2)

個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの送迎時に、その日の子どもの様子を伝えるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 連絡帳やメールなどできめ細かに情報交換を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の意向を踏まえて個別面談を実施している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(3)

保護者の相談に応じているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談内容などを人に聞かれないで相談できるよう、配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談を受けた職員が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制になっている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ－４－(4)

保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 「園だより」など定期的に発行している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園内に、その日の保育の様子を知らせる情報を掲示している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> クラスごとの保護者懇談会などで、保育内容・目的を分かりやすく説明し情報提供を図っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(5)




保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 年間行事予定であらかじめ日時を知らせ、保護者が保育参加のための休暇等の予定を立てやすくしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育参観または保育参加を積極的に受け入れている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(6)

保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者が自主的な活動ができるように場所等の提供をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の活動に要請があれば職員も参加をしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅱ-4 評価の理由(コメント)	評価
<p>保護者に、保育の基本方針や保育目標の理解が得られるよう努めています</p> <p>保護者に対し、入園前の面談で保育園の理念や基本方針、保育目標を説明しているほか、玄関や保育室に掲示しています。重点目標の一つである「じょうぶなからだの子」を実現するため、薄着の奨励、園内の裸足、外遊びの重視などに理解を得ています。大きな行事後に、保護者アンケートを実施するほか、本部が毎年保護者アンケートを実施し、保護者の意向や満足度を把握し、必要な改善に取り組んでいます。個人面談でも、方針や保育目標を説明し、理解を得るよう努めています。</p>	
<p>日々、保護者と情報交換を行うほか、個別面談や懇談会を設けています</p> <p>迎えの際、その日の子どもの様子をどの職員でも伝えられるよう工夫しています。迎えの対応は遅番職員が担当しますが、担任も対応できるような勤務体制を作っています。0、1、2歳児は、複写式連絡帳で、きめ細かい情報交換を実施し、3歳児もノートを使用して必要な時に記載してもらい、応えています。個人面談を年1回行うほか、希望があればいつでも面談しています。クラス懇談会を年1回開き、クラスの様子を話し合ったり、DVDで生活の様子を見てもらったりしています。このDVDの貸し出しも行っています。</p>	  
<p>クラス懇談会で保護者同士が懇談し、交流を図っています</p> <p>毎月、園だより「ほんわか」を発行し、クラスの様子を始め、給食の献立、健康に関することなどを知らせています。その日の保育の様子は、玄関のボードに記入して知らせています。クラス懇談会を実施し、保育園からの情報提供に加え、保護者同士が懇談する機会を設けています。懇談会では、意見交換が行われ、良い雰囲気での交流が図られています。現状、保護者組織の機能を果たしていると見られますが、今後、保護者の意見を聞きながら保護者組織に発展させるかの検討が期待されます。</p>	

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供

評価項目Ⅲ-1-(1)




地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握するための具体策を講じている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を通じて把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて関係機関や他施設との検討会・研究会を行っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅲ-1-(2)

地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育て支援ニーズについて、定期的(年に1回程度)に職員間で話し合われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域での子育てを支援するためのサービス(一時保育、交流保育、園庭開放等)を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民に向けて子育てや保育に関する講習・研修会を開催している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅲ-1 評価の理由(コメント)		評価
有する専門性を、保護者に限定することなく、地域に提供しています		  
<p>地域の人々が参加できる行事は、見学者にハガキを送ったり、保育園の前にポスターを貼って広く知らせています。毎週水曜日、園庭開放を行なっています。その際、保育園見学や育児相談などの要望があれば、その都度、見学を受け入れたり、相談に応えたりしています。幼保小の連絡会や研修会、駒岡地区保育園と合同で開く交流会を活用し、地域の子育てニーズの把握に努め、園内に周知しています。今後、保育園の長期的な展望に立って、地域住民との交流を深める活発な取り組みが期待されます。</p>		
<p>地域の子育て支援ニーズに対し、有する専門性を生かして支援事業に取り組んでいます</p> <p>地域の在宅子育て家庭への支援事業として、一時保育を始め、交流保育、園庭開放などを実施しています。地元住民との交流は、園庭開放のほか、七夕・夏祭り・運動会などの行事を通して行っています。その際、来園者の要望に応え、子育てに関する相談も受けています。また、地域住民に向けて、子育てや保育に関する講習・研修会を開催しています。2015年度は「てあそび」を予定しています。</p>		

評価分類Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能

評価項目Ⅲ-2-(1)




地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報提供や育児相談を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 育児相談については、定期的(最低週に1回)に相談日を設けて対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園からのお知らせを地域に回覧するなどして、情報提供に努めている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅲ-2-(2)

相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な関係機関・地域の団体等をリスト化する等により情報を職員が共有している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関との連携の担当者が決められている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関・団体等との日常的な連携ができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅲ-2 評価の理由(コメント)	評価
<p>地域の在宅子育て家庭へ情報を提供したり、育児相談に応えています</p> <p>地域の在宅子育て家庭へ情報を提供し、また、園庭解放や保育園のイベント時に、育児相談の要望があれば、応えています。定期的な育児相談は、毎週水曜日、園庭開放時行っています。その案内は、鶴見区の保育園案内冊子に明記しています。独自の対応として、保育園のフェンスにポスターを掲示しています。今後、保育園の情報提供の手段として、独自の掲示板を設置するなど地域に向けて発信する取り組みの検討が期待されます。</p>	
<p>相談内容によって、必要に応じ関係機関と連携して対応する態勢を整えています</p> <p>必要な関係機関・地域団体として、区内保育園のほか、運営会社傘下の保育園、医療機関、小学校などリストアップし、その一覧を事務室に掲示し、職員全員に周知しています。こうした関係機関や団体との連携は、園長とリーダーが担当し、いつでも常に連絡が取れる関係を保っています。鶴見区こども家庭支援課の担当者が来園する折、保育園の状況を報告し、併せて、必要な助言を受けています。</p>	 

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類Ⅳ－1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ

評価項目Ⅳ－1－(1)




保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の行事に地域住民を招待している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自治会・町内会、ボランティアグループ等と協力して行事を行うなど、地域の団体、機関と定期的(年1回以上)、計画的に交流を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 小中高等学校など、学校教育との連携を積極的に図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域への施設開放や備品等の貸し出しを行っている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1～2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅳ－1－(2)

子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の文化・レクリエーション施設等を利用している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に地域の人達と接する機会(散歩・買い物等)に積極的に交流を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に他の園・学校・福祉施設等との交流を図っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅳ－1 評価の理由(コメント)		評価
<p>保育園に対する理解を促進するため、多様な取り組みを行っています</p> <p>保育園の各種行事に地域住民を招待し、参加を呼びかけています。隣接する高齢者のデイサービスセンターとの交流も計画しています。学校教育との連携として、年長児は、就学前の1～3月に小学校を訪問し、卒園生を含む小学生と交流するとともに、小学校の生活を体験しています。園庭開放のほか、必要に応じ遊具や玩具、簡易トイレなどの貸し出しも行っていきます。ハロウィンの行事に当たり、近隣のタイヤ販売店を始め、花屋、コンビニエンスストア、デイサービスセンターなどの協力を受けていました。</p>		  
<p>子どもと地域の人々との間で、日常的に交流を進めています</p> <p>駒岡消防出張所(鶴見区駒岡2丁目)を訪ね、消防車を見学したり、遠足で県立三ツ池公園(鶴見区三ツ池公園1丁目)に出かけたりしています。クッキング材料の買い物で、店の人と交流を図っています。訪問調査の日、散歩の途中、行き交う人々へ挨拶を行っています。挨拶を受けた人たちから、笑顔で挨拶が返ってくる様子を見ることができました。運動会や発表会の会場に、毎年県立鶴見養護学校(鶴見区駒岡4丁目)の校庭や体育館を借用しています。今後、地域への取り組みに、保育園の創意工夫や独自性を発揮することが期待されます。</p>		

評価分類Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供

評価項目Ⅳ－２－(1)







将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園のパフレット・広報誌・ホームページ等により、地域や関係機関に随時、情報を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 外部の情報提供媒体に対して園の情報を提供している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 園として、すすんでサービス内容の詳細、料金、職員体制等、必要な情報を提供している。		
B Aの中でいずれか1つは該当する。		
C 上記のいずれにも該当しない。		

評価項目Ⅳ－２－(2)

利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の基本方針や利用条件・サービス内容等についての問い合わせに対しては、常時対応できるようになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用希望者に見学ができることを案内している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 保育に支障をきたさない範囲で、曜日や時間は見学希望者の都合に対応している。		
B <input checked="" type="checkbox"/> 園の基本方針や利用条件・サービス内容等について、パンフレット等の資料や文書に基づいて説明している。		
C 上記のいずれにも該当しない。		

評価分類Ⅳ－２ 評価の理由(コメント)		評価
配付資料を用意し、保育園の情報をわかりやすく説明しています		  
<p>保育園の情報は、「鶴見区保育所案内」に一時保育や園庭開放のお知らせを載せています。一時保育について、パンフレットを作成し、利用料金や持ち物などをわかりやすく説明しています。見学の来訪者にも、パンフレットを用意し、必要な情報の提供を行っています。パンフレットは、見学者だけでなく希望者にも配付しています。パンフレットには、保育園の基本方針や保育目標を始め、保育内容、利用条件や料金、職員体制など保護者が選択に当たって必要とする情報を掲載しています。</p>		
利用希望者などの問い合わせや見学希望に、柔軟に対応しています		  
<p>利用者希望者などの問い合わせや見学希望に、柔軟に対応しています。見学者に、パンフレットを使って詳しく説明するとともに、質問に回答しています。電話による問い合わせにも、説明と併せて、見学を勧めています。業務に支障のない範囲で、見学希望者などの都合を優先しています。見学時には、園庭開放や一時保育の案内も行っています。現在、一時保育や園庭解放の利用者から入園した子どもが在園しています。</p>		

評価分類Ⅳ－3 ボランティア・実習の受け入れ

評価項目Ⅳ－3－(1)




ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者にも基本的考え方・方針が理解されるよう説明している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れと育成の担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	ボランティアの感想や意見を園運営に反映させている。
B	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づきボランティアに対して園の方針、利用者への配慮等を十分説明している。
C		受け入れのためのマニュアル等がなく、取り組みが不十分である。

評価項目Ⅳ－3－(2)

実習生の受け入れを適切に行っているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者にも基本的な考え方・方針が理解されるよう説明している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れのための担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	実習目的に応じた効果的な実習が行われるためにプログラム等を工夫している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	実習生と職員との意見交換の機会を設けている。
B	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づき実習生に対して園の方針、利用者への配慮等を十分説明している。
C		受け入れのためのマニュアル等がなく、取り組みが不十分である。

評価分類Ⅳ－3 評価の理由(コメント)		評価
<p>ボランティアを受け入れ、職員以外の人とのつながりを保育に生かそうとしています</p> <p>「ボランティア受け入れマニュアル」に従って、ボランティアを受け入れています。受け入れに対する方針などは、職員に説明しています。受け入れと育成は、園長が担当し、受入れた時の活動を「ボランティア活動日誌」に記録しています。終了時に、「ボランティア活動を終えて」と名付けた感想や意見を提出して古来、保育園運営に反映しています。最近では、クリスマスのサンタ役をボランティアが務めてくれました。今後、地域のボランティアを開拓する取り組みが期待されます。</p>		  
<p>実習生の受け入れに、これまで以上の働きかけが期待されます</p> <p>「実習生受け入れマニュアル」を用意し、実習生の受け入れに努めています。ここ2年ほど、希望者がありませんでした。職員に、受け入れ方針などを説明し、また、保護者には、事前に実習生が来園することを伝え、理解を求めています。受け入れは、園長が担当し、クラス担任などが実習生の希望に配慮したプログラムを作成し、実習指導を行っていました。実習内容は、所属する学校の指定様式で記録し、実習生に手渡していました。実習に当たり、終了後、実習生と職員との意見交換の機会を設けています。ここ2年ほど、希望者がいない状況が続いています。今後、保育人材の確保・育成の観点から、これまで以上の働きかけが期待されます。</p>		

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類 V-1 職員の人材育成

評価項目 V-1-(1)

保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園運営に十分な人材構成であるかをチェックし、必要な人材の補充を逐次行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の理念・方針をふまえた保育を実施するよう、人材育成の計画が策定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個々の職員の資質向上に向けた目標を毎年定め、達成度の評価が行われている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 V-1-(2)

職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部研修が定期的実施され、職員・非常勤職員とも必要な職員が必ず受講できる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外の研修会、大会等への参加、他の福祉施設での実地研修等が積極的に行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の成果を職場で活かすための工夫がされている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の成果を評価して、研修内容を常に見直している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の研修ニーズにも配慮し、研修担当者が研修計画を作成している。	
C	園としての研修計画を作成しておらず、取り組みが不十分である。	

評価項目 V-1-(3)

非常勤職員等にも日常の指導を行っているか

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務にあたっては職員と非常勤職員の組み合わせなどの配慮をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員に対し、職員と同様に資質向上への取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員の指導担当者が定められ職員間のコミュニケーションが図られている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員にも業務マニュアルが配布されている。	
C	業務マニュアルもなく、取り組みが不十分である。	

評価分類 V-1 評価の理由(コメント)

評価
理念や方針に適合した人材の育成に取り組んでいます
運営会社の計画をベースに、人材育成に取り組んでいます。保育園運営に必要な人材構成を目指し、職員を育成しています。保育園は、保育理念・方針を確実に実践するため、ミーティングなどの機会に、「教育経営計画書」を再確認しています。職員の一人一人の資質と力量の向上を目指し、「スタッフシート」を用いて、目標を設定し、達成に取り組み、自己評価を行っています。目標達成のため、運営会社が実施する多様な研修プログラムを活用しています。
職員(非常勤含む)の研修計画を作成し、運営会社の研修プログラムを活用しています
運営会社は、内定者研修を始め、経験別研修(新卒・2年目・中堅)、スキルアップ研修(保育技術・行事・保健衛生など)、評判の高い保育園の見学など知識や技術を学ぶ研修体系を整えています。保育園は、マナー、環境整備、食物アレルギー、栄養などの研修を受講し、保育士一人一人の資質向上に取り組んでいます。研修参加者は、研修報告書を作成するとともに、他の職員へ報告し、共有に努めています。研修報告書を保管し、いつでも閲覧できるよう工夫しています。また、必要な情報を日々の保育に取り入れています。こうした研修の成果を踏まえ、保育園にどのような研修が必要かを考慮し、研修計画を策定しています。
非常勤職員にも、適切な指導を行い、職員と一緒に保育の実践に従事しています
業務に当たり、非常勤職員(調理担当)と職員と組み合わせに配慮しています。昼ミーティングや運営会社の研修にも、職員と一緒に参加しています。調理師としての指導は、運営会社の栄養士が担っています。非常勤職員に対する声かけやコミュニケーションを取りやすい雰囲気作りに気を配っています。保育園行事(夏祭りなど)に関わり行事食を調理するなど職員と一緒に保育の実践に従事しています。



評価分類V-2 職員の技術の向上

評価項目V-2-(1)

職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の振り返りや、保育所の自己評価を計画的に行う仕組みを持っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫・改善した良いサービス事例をもとに、一層のサービス向上を目指した会議・勉強会が開かれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて外部から保育の技術の評価・指導等を受ける仕組みがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目V-2-(2) ※新規項目




保育士等が保育や業務の計画および記録を通してみずいからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等一人一人が、自己の実践の振り返りをし、文章化できるように計画や記録の書式が定型化されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返りは、計画で意図した保育のねらいと関連づけて行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返りは、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの育ちや意欲、取り組む過程などを重視して行っている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等一人一人が振り返りを通して自己の実践を評価し、改善やその後の計画作成に反映させている。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目V-2-(3) ※新規項目

保育士等の自己評価を踏まえ、保育園としての自己評価を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の振り返りの結果を互いに報告し合い、話し合っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の振り返りの結果から、園としての課題を明らかにし、改善に取り組んでいる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園としての自己評価は、園の理念や保育の方針、保育課程に沿って行われている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 保育園としての自己評価を公表している。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	




評価分類V-2 評価の理由(コメント)		評価
<p>職員の資質向上に、計画的に取り組んでいます</p> <p>職員は、保育の場及び行事ごとに自らの振り返り、自己評価を行っています。週案に、各日の反省などをもとに自己評価を記述しています。保育園としての評価は、運営会社が傘下の全保育園の評価を実施しています。その結果をもとに、改善点を話し合い、保育の質の向上に取り組んでいます。運営会社独自の「園回り研修」において他の保育園の園長のアドバイスや指導を受け、職員の技術の向上に取り入れています。運営会社は、こうしたアドバイスや指導の内容を「園まわり研修報告」としてまとめ、保育園に対する指導に活用しています。</p>		  
<p>保育士が自らの実践を評価し、改善に取り組む仕組みを整え、実行しています</p> <p>週案に毎日の評価を記載し、日々の保育を振り返ることができます。月案では月単位で、年間指導計画は3か月単位で自己評価を行っています。年間計画から月案に落とし「ねらい」と関連付けて、週案を作成しています。日々子どもの発達状況を見ながら、週案を考え、ねらいや目標に沿って評価を行い、次月の計画をより子どもに添った内容に改善しています。こうした仕組みの有効性を高める観点から、指導計画(P)⇒保育の実践(D)⇒自己評価(C)⇒改善の提案(A)⇒指導計画(P)のプロセス(サイクル)を理解し、着実に実施することが期待されます。</p>		
<p>保育士の自己評価を踏まえ、話し合い、保育園としての評価を行っています</p> <p>保育園としての評価は、園長とリーダーはクラスミーティングで話し合う場などを活用して実施しています。保育士の自己評価の結果、問題点を全体ミーティングなどで報告し、保育園全体で改善に取り組んでいます。また、保護者アンケートの結果などをもとに、自己点検を行い、必要に応じ改善案を作成し、実行しています。</p>		

評価分類V-3 職員のモチベーションの維持

評価項目V-3-(1)

本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者の状況に応じ自主的に判断できるように、現場の職員に可能な限り権限を委譲し、責任を明確化している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員から業務改善の提案を募ったり、意見を聴取するためのアンケートなどを実施している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類V-3 評価の理由(コメント)		評価
職員への権限移譲やアンケート調査を行い、モチベーションアップに取り組んでいます		  
<p>運営会社の規定により、職員に対する期待水準を明確にしています。それを踏まえ、保育園は、職員それぞれの得意分野の仕事を優先し、分担しています。保護者との個人面談を、クラス担任に委せるなど、担当職員に自信をつけています。園内研修によって、他のクラスの良い所や改善すべきところなどを話し合い、改善につなげています。職員との個別ミーティングや運営会社のアンケートを通して、職員の満足度や要望などを把握しています。</p>		
<p>定着やモチベーションアップの観点から、新たな発想が期待されます</p> <p>現状、職員は、保育の実践とともに、様々な文書や記録を作成する仕事に追われているように見られます。指導計画の作成を始め、日々の連絡帳や児童票の記入など、多くの事務仕事を子どもたちの午睡時間に、照明を落とした限られたスペースで行っています。職員の定着やモチベーションを高める観点から、こうした事務作業の効率化、就業環境の改善に取り組む、新たな発想が期待されます。</p>		

評価領域VI 経営管理

評価分類VI-1 経営における社会的責任

評価項目VI-1-(1)




事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> 次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 組織及び職員が不正・不適切な行為を行わないよう守るべき法・規範・倫理等が明文化され職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 経営、運営状況等の情報が積極的に公開されている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-1-(2)

サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> 次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> ゴミ減量化・リサイクルのための取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 省エネルギーの促進・緑化の推進などの取り組みを行っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類VI-1 評価の理由(コメント)		評価
<p>保育者として守るべき法・規範・倫理等を明確にし、周知しています</p> <p>「教育経営計画書」に、保育事業に従事する職員として守るべき法・規範・倫理などを明確にし、職員に周知しています。運営会社の経営・運営状況などの情報は、ホームページなどに公開しています。保育園運営に関わる情報は、「駒岡こども園だより」(年度事業報告書)、「年度事業計画書」によって明らかにし、鶴見区にも提出しています。園長会などで入手した他の保育園で発生した不具合事例(不適切な言動や態度、虐待につながりかねないヒヤリハットなど)は、同様の問題を起こさないようミーティングなどにおいて周知し、注意を喚起しています。事例の内容を見極め、声かけにとどめず、同様の事故などを予防する具体的な対応を検討することが期待されます。</p>		  
<p>環境に配慮し、子どもと一緒に、ゴミの減量化、リサイクル、省エネルギーに取り組んでいます</p> <p>ゴミ減量化や資源のリサイクルに対し、子どもに関心を持たせるとともに、具体的に活動しています。牛乳パックは制作に再利用したり、踏み台などに活用しています。緑化の面では、園庭やフェンスのプランターを設置し花を植えたり、野菜を栽培して緑化に努めています。省エネルギーの面では、エアコンの設定温度を高め設定しています。キッチンでも、給水温度を夏と冬の設定温度を変えたり、残飯を出さないようバイキング形式を採用しています。</p>		

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等

評価項目VI-2-1)

保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針を明文化したものを掲示または職員に配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員に朝礼・会議等で周知し、理解を促すための説明をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針を職員が理解できているか、園長・主任が定期的(採用時1回、採用後は最低年1回)に確認している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-2-2)

重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定にあたり、園長は保護者と継続的に意見交換をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定(変更)について、職員及び保護者に目的・決定(変更)理由・経過等を十分に説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異なる部門の職員による検討チームを編成し組織をあげて取り組む仕組みがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-2-3)

主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> スーパーバイズのできる主任クラスを計画的に育成するプログラムがある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任が個々の職員の業務状況を把握できるしくみがあり、有効に機能している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任は個々の職員の能力や経験にあわせた確かな助言や指導を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任は個々の職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう、具体的な配慮を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類VI-2 評価の理由(コメント)

評価	
<p>運営会社の理念や方針、保育園の保育目標などを、保護者に周知しています</p> <p>保育園の理念・方針は、運営会社の理念・方針に従っています。これらの内容は、「教育経営計画書」や入園のしおりに明記しています。こうした文書は、職員全員に配付し、理解を徹底しています。保育園の保育目標と併せて、玄関や保育室に掲示しています。昼ミーティング時に、職員全員で読みあわせ、理解を深めているほか、小テストを実施し、確認しています。今回の利用者家族調査の結果、保育目標・保育方針を「よく知っている」人は22人のうち3人、「まあ知っている」人は16人、「どちらともいえない」人は3人でした。保護者に、理念・方針・目標が確実に伝わっているか、検討が期待されます。</p>	
<p>重要な意思決定にあたり、関係職員や保護者に意見を聞き、決定事項を伝えています</p> <p>保護者の意見を反映するため、運営委員会を年2回開催し、保護者代表が参加しています。保護者との個人面談とクラス懇談会をそれぞれ年1回行い、保護者から意見や要望を聞いています。大きな行事に関し、その都度アンケートを行い、行事に対する満足や意見・提案を聞き、次回の企画に反映しています。決定事項は、全体ミーティングにおいて、職員に周知し、説明するとともに、玄関などへ掲示し、保護者に知らせています。</p>	  
<p>主任クラスの職員が、スーパーバイザーとしての役割を果たしています</p> <p>現在、リーダーが主任の役割を務めています。運営会社がリーダー研修を実施し、スキルアップ研修やモチベーションを高める仕組みを整えています。運営会社の会議にも出席し、同じ立場の他の保育園の職員とも交流しています。新人職員に教育係を指名し、主な業務の指導を行い、行き届かない部分をリーダーがフォローしています。保育園を熟知しているリーダーは、全体を見て、分担を始め、行事、掃除など職員がうまく機能するよう気を配っています。心身ともに健康な状態で保育に取り組めるよう、職員の就業状態を観察し、言葉かけをするなど、具体的に支援を行っています。</p>	

評価分類VI-3 効率的な運営

評価項目VI-3-(1)




外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業運営に影響のある情報を収集・分析している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な情報は幹部職員や主要な職員間で共有するため会議等で議論し、重点改善課題として設定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営面での重要な改善課題について、職員に周知し、園全体の取り組みとしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-3-(2)

保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たなしくみを常に検討している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 次代の施設運営に備え、幹部職員は計画的に後継者を育成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営に関し、外部の機関や専門家などの意見を取り入れる努力をしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類VI-3 評価の理由(コメント)		評価
<p>内部、外部の情報をもとに、保育の質や保護者の満足の向上に取り組んでいます</p> <p>保育に関わる国や市からの情報は、各種セミナーなどを通して収集しています。モデルとなる保育園や運営会社傘下の保育園の見学などを通して、外部の情報を入手しています。重要な情報や課題は、全体ミーティングなどにおいて職員全員に伝え、共有しています。運営会社の保護者アンケートによって、保育園を評価する仕組みを設けています。保育の質、保護者の満足の向上を目指し、アンケートの結果をもとに、改善に関する話し合いを行い、職員の意見や提案を聞くなど、全体で取り組もうとしています。</p>		  
<p>保育の充実を目指し、日々の実践を通して、実現に取り組んでいます</p> <p>運営会社のビジョンや目標に沿って、保育園独自の中期計画を作成し、その実現に取り組んでいます。計画は、現状の保育サービスの更なる充実を目指すもので、日々の実践を通して実現に取り組んでいます。今後、保育園が中長期的に直面する課題を幅広く、例えば、保育を実践する基盤となる人材や設備、地域社会との関係などに関わる課題を取り上げ、1年目、2年目、3年目と時間軸を設定し、着実に実現していく計画が必要ではないか、検討が期待されます。保育園として、運営会社の指導・助言や外部の専門家の意見を取り入れたり、他の保育園の研修に参加したりして、情報収集に力を入れています。</p>		

利用者家族調査の結果

調査の概況

調査対象：2015年10月現在、在園の子どもの保護者31世帯を対象としました。
 調査方法：アンケート方式で調査を実施しました。保育園から保護者に対し予め第三者評価の目的について説明し、利用者調査票（保護者用）と評価機関作成の説明書を配付してもらいました。保護者から、記入後評価機関が用意した封筒にいれ、直接郵送してもらい回収しました。利用者（保護者）総数31人（世帯）、有効回答数22人、利用者総数に対する回答者割合71%でした。

結果の特徴

回答者の総合的満足度は、「満足」が14人（64%）、「どちらかといえば満足」が8人（36%）、合わせると100%で、満足度の高い評価となりました。
 個別の質問には、37項目のうち10項目について、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると100%でした。中でも、問7-2「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」は、「満足」16人（73%）、「どちらかといえば満足」6人（27%）で、「満足」の割合が最も高くなっていました。次いで、問3-1「年間の保育や行事についての説明」、問4-12「お子さんの体調への気配り」、問6-2「園便りや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供」の3項目はいずれも「満足」が15人（68%）、「どちらかといえば満足」が7人（32%）でした。また、問3-2、問4-1、問5-1～3、問6-1の5項目は、「満足」より「どちらかといえば満足」が多くなっていました。
 保育園に対する意見・要望には、「楽しそうなので、このまま、長くお世話になりたいと思っています。全体的には満足しています。若い先生が多く毎年数人辞めてしまうことが気になります。よく対応して下さい、教育も含めた園のすごし方を実施してくださっていると思います。」という記述が見られました。他方、「扉が半開きでは、鍵があっても無意味。保育参観を年2回ほど行ってほしいです（日常が見たいので）。」という記述もありました。

(6人)

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか（○は1つだけ）

よく知っている	まあ知っている	どちらかともいえない	あまり知らない	まったく知らない
3	16	3	0	0
14%	73%	14%	0%	0%

「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」と答えた人のうち

1-2 その保育目標や保育方針は賛同できるか

賛同できる	まあ賛同できる	どちらかともいえない	あまり賛同できない	賛同できない
13	6	0	0	0
68%	32%	0%	0%	0%

■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
2-1 見学の受け入れについては		10	6	0	0	6
		45%	27%	0%	0%	27%
2-2 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	その他	・見学していない(複数)。上の子がいるので見学はしていない。見学を希望しなかったのわからない。				
		12	8	0	0	2
		55%	36%	0%	0%	9%
2-3 園の目標や方針についての説明には		10	11	1	0	0
		45%	50%	5%	0%	0%
	その他					

2-4 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については		14	6	0	0	2
		64%	27%	0%	0%	9%
	その他	・その様な話はしていない。				
2-5 保育園での1日の過ごし方についての説明には		10	11	1	0	0
		45%	50%	5%	0%	0%
	その他					
2-6 費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかを含めて)		12	10	0	0	0
		55%	45%	0%	0%	0%
	その他					

問3 保育や行事の年間計画について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
3-1 年間の保育や行事のについての説明には		15	7	0	0	0
		68%	32%	0%	0%	0%
	その他					
3-2 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては		8	12	1	0	1
		36%	55%	5%	0%	5%
	その他					

問4 日常の保育内容について【遊び】		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
4-1 クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)		10	11	1	0	0
		45%	50%	5%	0%	0%
	その他					
4-2 子どもが戸外遊びを十分しているかについては		12	10	0	0	0
		55%	45%	0%	0%	0%
	その他					
4-3 園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)		11	9	1	0	1
		50%	41%	5%	0%	5%
	その他	・何があるか知らない。				
4-4 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については		13	8	1	0	0
		59%	36%	5%	0%	0%
	その他					
4-5 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては		12	8	2	0	0
		55%	36%	9%	0%	0%
	その他					
4-6 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては		10	11	1	0	0
		45%	50%	5%	0%	0%
	その他					

問4 日常の保育内容について【生活】		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
4-7 給食の献立内容については		15	6	1	0	0
		68%	27%	5%	0%	0%
	その他					
4-8 お子さんが給食を楽しんでいるかについては		15	6	0	1	0
		68%	27%	0%	5%	0%
	その他					
4-9 基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては		12	10	0	0	0
		55%	45%	0%	0%	0%
	その他					
4-10 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては		13	6	1	2	0
		59%	27%	5%	9%	0%
	その他					
4-11 おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては		11	8	0	0	3
		50%	36%	0%	0%	14%
	その他	・来年からの予定と説明受けました。まだです。おむつはずしの年齢でないのわからない。				
4-12 お子さんの体調への気配りについては		15	7	0	0	0
		68%	32%	0%	0%	0%
	その他					
4-13 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には		12	7	2	0	1
		55%	32%	9%	0%	5%
	その他					

問5 保育園の快適さや安全対策などについて		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
5-1 施設設備については		6	13	0	1	2
		27%	59%	0%	5%	9%
	その他	・狭い空間でアットホームなのですが、室内遊びが物足りない。				
5-2 お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては		9	12	1	0	0
		41%	55%	5%	0%	0%
	その他					
5-3 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については		7	14	0	1	0
		32%	64%	0%	5%	0%
	その他					
5-4 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については		15	6	0	1	0
		68%	27%	0%	5%	0%
	その他					

問6 園と保護者との連携・交流について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
6-1 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については		10	12	0	0	0
		45%	55%	0%	0%	0%
	その他					
6-2 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については		15	7	0	0	0
		68%	32%	0%	0%	0%
	その他					

6-3 園の行事の開催日や時間帯への配慮については		13	8	1	0	0
		59%	36%	5%	0%	0%
	その他					
6-4 送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については		11	9	2	0	0
		50%	41%	9%	0%	0%
	その他					
6-5 お子さんに関する重要な情報の連絡体制については		12	9	1	0	0
		55%	41%	5%	0%	0%
	その他					
6-6 保護者からの相談事への対応には		13	9	0	0	0
		59%	41%	0%	0%	0%
	その他					
6-7 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については		14	7	1	0	0
		64%	32%	5%	0%	0%
	その他					

問7 職員の対応について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
7-1 あなたのお子さんが大切にされているかについては		11	9	0	0	0
		55%	45%	0%	0%	0%
	その他					
7-2 あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについては		16	6	0	0	0
		73%	27%	0%	0%	0%
	その他					
7-3 アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については		7	8	0	0	7
		32%	36%	0%	0%	32%
	その他	・子どもたちに特にアレルギー等ないので、どのように対応しているか知らない。わからない(複数)。どんな配慮がされているのか現状を知らない。				
7-4 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては		11	10	1	0	0
		50%	45%	5%	0%	0%
	その他					
7-5 意見や要望への対応については		13	9	0	0	0
		59%	41%	0%	0%	0%
	その他					

問8 保育園の総合的評価		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
総合満足度		14	8	0	0
		64%	36%	0%	0%

問9 保育園への意見・要望など

問1 保育園の保育目標・保育方針について 記入無
問2 入園する時の状況について ・とても親切に対応していただきました。 ・1日の流れや考えがよく分かる説明でした。 ・クラス単位の話や合同保育の話も大変わかりやすかったです。
問3 保育や行事の年間計画について ・計画表を元にくわしく説明して頂けました。 ・行事ごとにアンケートを取って、活かそうと努力されていると思います。

問4.1 日常の保育内容について【遊び】

- ・とても満足しています。必ず1日1回以上外遊びをしようとして下さっています。
- ・園庭がせまいので午後遊びがもの足りないです。
- ・保育者はいつも忙しそう。
- ・芋ほりが残念。
- ・とてもよく関われていると思います。
- ・体を使っての遊びが多いので健康づくりに役立っていると思います。

問4.2 日常の保育内容について【生活】

- ・産地にもこだわって頂いてとても満足しています。
- ・毎日完食して楽しく食べていると思います。
- ・少し少ならしい。
- ・3才児は身の周りの事が自分で出来るようにとの事でよく取り組まれていると思う。
- ・夜の寝つきがとても悪く、昼寝を短くしてもらうよう依頼し、対応して下さい有難い。
- ・昼寝が不要の園児もいる。
- ・柔軟に進めて下さっていると思うのですが帰りのオムツの有無について日によってバラつきがあります。
- ・細かい所にもよく気づいて下さっています。
- ・すごく小さなケガでも教えて頂いて嬉しいです。

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

- ・広くない空間を有効に使う為だけじゃなくケガをしない工夫もよくされています。
- ・とても家庭的なので我が家のように安心しているようです。もう少し広いといいなと思う。
- ・扉が完全に閉まっておらず、開いている事がよくある。
- ・1人でも感染症の発生があるとすぐに告知して頂いて安心できます。

問6 園と保護者との連携・交流について

- ・保護者懇談会が秋までないので入園してすぐはとても心細いです。
- ・冊子で園だよりを下さるのはとても嬉しいです。
- ・先生同士の伝達が上手くいっていないのかと思うことがたまにある。
- ・日曜日に行事はやめてほしい。
- ・心配なことを告げるとすぐに時間を取って聞いて下さって安心できます。
- ・電話での急な延長にも快く対応して頂いています。

問7 職員の対応について

- ・とても大切にされていると感じます。
- ・仲良しのお友達もできて、とても楽しそうです。
- ・両親の意向をきちんと聞いて一緒に考えて下さってよくして頂いています。
- ・話しやすいが、若い先生が受け身すぎる。
- ・みなさん、とても笑顔で話しやすいので助かります。
- ・意見や要望をよく取り入れて工夫して頂いています。

保育園への意見や要望

- ・まだ、年齢が低い為、本人からの発言はありませんが、上のクラスの子供達を見ていると、楽しそうなので、このまま、長くお世話になりたいと思っています。
- ・毎日とても楽しく過ごさせてもらって、ごはんもおやつもおいしそうで、イベント事も多いので、自分ではとてもここまでは出来ない、本当に感謝しています。
- ・全体的には満足しています。疑問など相談事には熱心に対応してくださるので感謝しております。若い先生が多く毎年数人やめてしまう事が気になります。
- ・3歳児クラスに上がり、毎日の連絡ノートがなくなり、園でどう過ごしているか、よくわからなくなってしまったのが残念です。本人は楽しんで行っていますが、実際の様子が見えてきません。
- ・保育参観を年2回ほど行ってほしいです(日常が見たいので)。給食の試食会を年1回開いて欲しいです。
- ・扉が半開きでは、鍵があっても無意味。玄関付近での着替えは外から見える。

■ 保育園に通っている子どもについて(保育園に2人以上通っている場合は、下の子ども)

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
2	4	5	4	4	3
9%	18%	23%	18%	18%	14%

利用者本人調査の結果

調査の概況
調査対象:2015年12月8、9日、登園の子どもを対象としました。 調査方法:観察方式で実施しました。観察は、2人の調査評価者が、それぞれクラスを訪問し、保育状況を観察しました。調査評価者の1人は、公園への外出に同行し、途中や行く先での子どもの動きや表情を観察しました。なお、聞き取り調査は、準備が整わず実施しませんでした。
保育の様子・こどもの様子等結果の特徴
0歳児組
朝のおやつは、0歳児、1歳児、2歳児が同じ部屋で食べています。0歳児も、一人ずつタオルを用意し、食事の前や遊びの後に泡石鹸を使って手洗いを始めています。職員のまねをして、蛇口に手を伸ばしたり、石鹸を取り寄せたり、ごしごしこすろうとする様子を職員は見守りながら援助しています。手洗いを終え、月齢の小さな子供2人が一人掛けのテーブルつき椅子に掛け、他の子どもは2つのテーブルに分かれて静かに座って待っています。食事の前に、職員が「シュッシュしようね」と、消毒液を手にはスプレーすると、手をごしごしこすります。朝のおやつはせんべいと牛乳で、いただきますと手を合わせ、食べ始めます。コップで上手に飲めた子どもに「じょうずにできたね」と職員が声をかける様子が見られました。ごちそうさまの後には、ウェットティッシュで口を拭きます。1歳児が、2歳児をまね、口を拭いたり、食器を片づけようとする姿が見られました。
1歳児組
午前中の活動は、1歳児、2歳児と一緒に園庭で自由遊びをしていました。園庭に、砂場と、2列のすべり台、ウッドハウスを設置しています。砂場用道具箱には、トレイや様々な型、シャベルなどが入っており、他に三輪車や足こぎの車も用意しています。1歳児は、まず、職員と一緒に砂場でシャベルを使って、砂を掘り起こしたり、型に砂を入れてかためたりして遊び始めました。遊びが始まらない子どもには、職員が手から砂をさらさら〜とこぼしたり、話かけたりしながら子どもの興味を誘っています。そのうちに、砂場の木枠にドーナツの型抜きをしたものを並べておままごとをしたり、2歳児がボールに砂を入れパン作りをしているのをまねたり、車遊びをしたり、ウッドハウスに入ったり、思い思いに好きな遊びを楽しんでいました。
2歳児組
2歳児は、朝のおやつの時間の後、自分の食器の片づけ、ウェットティッシュで口拭きが終ると、自分の椅子を持って、3、4、5歳児の部屋に移動します。椅子を抱えて移動する様子を職員が危険がないよう見守っています。どの子どもも指示されることなく、自然な動きで移動し、朝の会が始まります。3、4、5歳児と一緒に活動する時間を増やしており、5歳児の当番が司会する朝の会に参加しています。当番に名前を呼ばれると元気に返事し、「タオルありますか」と聞かれると「あります」としっかり答えています。この確認を始めてから、タオルを忘れる子どもは一人もいません。朝の会の後、1歳児と一緒に外遊びしました。やかん、ボール、お手玉などを使って、砂でメロンパン、ブドウパン、ケーキ、ジュースなどを作り、ウッドハウスにトレイで運んでご馳走したり、火事が起こったと車を消防自動車に見立て駆けつけるなど、ごっこ遊びを展開させていました。1歳児も、ちょこちょこっと加わっていました。

3歳児組

3歳児の「保育課程」に、養護と教育のねらいを明確に設定しています。教育面を経験する内容として、健康・人間関係・環境。言葉・表現・食育など、保育園の目標を配慮して設定しています。4、5歳児もほぼ同様な内容で記述しています。保育には、年齢による成長の跡を見ることができました。特に、3歳児の年長者を敬う様子を、保護者の迎えを待つ間の園庭遊びや近隣公園への散歩において見ることができました。6人と少人数ですが、着実に成長していることを職員から聞くことができました。

4歳児組

4歳児の教育のねらいの一つに、「戸外や身近な自然の中で遊んだり、いろいろな遊具・用具・リズム遊びなどで、十分体を動かして遊ぶことを楽しむ。」ことを挙げています。予定されたプログラムにそって、ねらいを実現する保育の実践を観察しました。園庭遊びを楽しんでいる中で起こった子ども同士のいさかいも、職員の上手な対応に素直に従っているところを見ることができました。3～5歳児と一緒に散歩においても、年少の子どもの世話をする気持ちが着実に育まれていることを見ることができました。

5歳児組

最年長の子どもとして、「年長児としての自覚を持ち、相手の立場を理解したり、集団の中の自分の役割が分かり行動し、就学を楽しみにする。」とした教育のねらいが、着実に実現に向かっていくことがわかりました。進学予定の小学校のことを楽しそうに話してくれたことが印象に残りました。3～5歳児の散歩に際して、年長者としての自覚の表れか、年少の子どもを気遣う行動を見ることができました。近隣公園においても、職員の言うことを率先して実行している姿を見せていました。